

— 名古屋大学特定基金 —

名古屋高等商業学校 名古屋大学経済学部・経済学研究科 100周年記念支援事業

ご支援のお願い



2020年に名古屋大学経済学部・経済学研究科はその前身である名古屋高等商業学校が設置されてから100年を迎えます。

名古屋大学経済学部・経済学研究科

「名古屋大学基金」は、創基150周年を目指して更に充実すべく、卒業生、企業・団体、個人の皆様にご協力をお願いしておりますが、これはいただいた寄附金を基金として積立て、その運用益で各種の事業を展開するものであり、昨今の厳しい経済状況及び低金利の中、十分な運用益を上げるのが厳しい状況となっております。

そのため「名古屋大学基金」では、寄附金の運用益による事業とは別に、寄附金の一部を直接支出できる「特定基金」を設け、部局事業に活用することとなりました。

ご 挨拶

名古屋大学経済学部・経済学研究科は、その前身である名古屋高等商業学校が大正9(1920)年に設置されてから、間もなく100周年を迎えることとなります。その間、昭和23(1948)年に、名古屋大学法経学部が設置され、昭和25(1950)年には、「経済学及び経営学の各分野にわたり、深く、かつ総合的に研究するとともに、世界の平和と人類の福祉に寄与すること」を目的として、法経学部が改組されて経済学部が設置されました。さらに、昭和28(1953)年には、経済学及び経営学における学術の理論及び応用を教授研究し、経済学及び経営学における学術の研究者、高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的として、大学院経済学研究科が設置されました。経済学部・経済学研究科では、真理の探究を図るとともに、我が国産業の集積地である東海地域における中核大学として経済学分野の先導的役割を果たすべく、教育研究を実施してきました。次の100年間のさらなる発展のため、名古屋大学が掲げる「勇氣ある知識人」の育成という目標の一翼を担うべく、勇氣ある経済知識人の育成に取り組んでおります。

この100年間で日本の経済を取り巻く環境は大きく変化しました。100年前の日本の姿を思い浮かべていただくとおわかりになりますように、1920年のわが国は、輸出については、綿織物や生糸などの紡織品に大きく依存していた時代であり、就業者数でみるとまだ過半数が第1次産業に従事していた時代でした。それと現代を比較すれば、その間にどれほど大きな変化が生じたか容易に理解できます。これからの100年間はさらに世の中が大きく変化してゆくと考えられます。それに対応できる知恵を身につけ、さらに叡智へと発展させることが求められています。

この度、名古屋高等商業学校・名古屋大学経済学部・経済学研究科100周年を記念して、経済知識人育成支援事業を展開したいと考えております。しかし、国からの予算は逼迫しており、資金が不足しているため、特定基金を設立しました。皆様方におかれましては、是非とも本特定基金へのご賛同と格別のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。これからの100年間、経済学部・経済学研究科が、経済知識人を育成し続けることによって、社会に貢献できるようになれば幸甚です。そのために皆様方の温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

名古屋大学経済学部・経済学研究科長

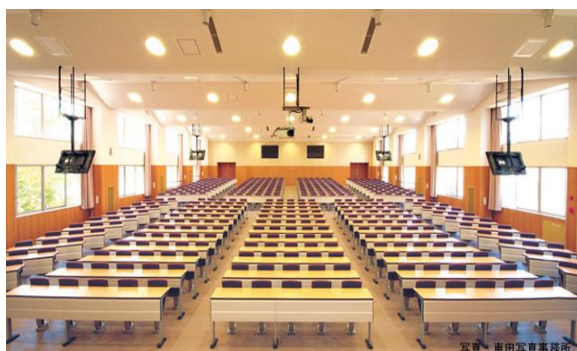
野 口 晃 弘

特定基金：

名古屋高等商業学校・名古屋大学経済学部・経済学研究科100周年記念支援事業

1. 事業の内容

ご寄附いただいた金額の一部は名古屋大学基金として運用されますが、それ以外は名古屋大学経済学部・経済学研究科の前身である名古屋高等商業学校が設置されてから100周年になることを記念して行う事業に支出させていただき、経済知識人育成の一層の充実を図ります。



- ① 名古屋大学経済学部・経済学研究科では、情報化・国際化という教育環境の変化に対応し、講義室等の施設の大規模な更新を行います。
- ② 100年という学部・研究科の歴史を整理し、これからの100年のために残すべき100年史の編纂を行います。
- ③ これまでの100年の研究を基礎としながらも、これからの100年に向けた国際シンポジウムなどを開催し、研究成果の社会への還元を務めます。

2. 基金の管理運営方法

学内外の委員で構成される名古屋大学基金運営委員会及び経済学研究科特定基金運営委員会において事業計画などを審議し、経済学部・経済学研究科長の決定に従って支出します。

3. ご協力をお願いしたい金額 1口 10,000円

- ① 本基金の趣旨をご理解いただき、複数口のご協力をお願い申し上げます。なお、分割納付によるご寄附も可能です。
- ② 土地の寄附、建物建築による寄附、遺贈による寄附など、多様な寄附形態も受け付けさせていただきます。

4. お申し込み方法

基金へのお申し込みは、多様な形態をご用意しております。いずれの場合も「**名高商・名大経済学部・経済学研究科 100 周年記念支援事業**」とご指定くださいますよう、お願い申し上げます。

ご連絡は、下記の文系事務部総務課（経済学特定基金事務局）でも結構です。

◇ 銀行・郵便局で振込用紙による方法

基金事務局まで電話（052-789-2011、4993）又は E メール（kikin@adm.nagoya-u.ac.jp）で、ご連絡ください。専用の振込用紙を送付させていただきます。

◇ クレジットカード・インターネットバンキングその他による方法

名古屋大学基金のホームページ（<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>）からお申し込みください。ページをスクロールし、特定基金の中から名高商・名大経済学部・経済学研究科 100 周年記念支援事業をお選びください。

5. 寄附に対する税法上の優遇措置

名古屋大学基金のホームページをご覧ください。

6. ご寄附をいただいた方への特典

名古屋大学基金の特典（ホームページをご覧ください）に加え、下記の経済学部・経済学研究科の特典もご用意しております。

- ① 銘板の掲示 100口以上ご寄附いただいた寄附者様のご芳名を、講義室改装時に設置する銘板に刻み、経済学部・経済学研究科の建物内に掲示します。
- ② 名称の付与 高額なご寄附の場合、寄附者様の意向を踏まえ、名称付与を行います。
（例：○○○○記念ホール ○○演習室）

名古屋高等商業学校・名古屋大学経済学部・経済学研究科 100 周年記念支援事業

お問い合わせ先：

名古屋大学文系事務部総務課（経済学特定基金事務局）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4920 E-mail : keizai-kikin@adm.nagoya-u.ac.jp